NEWS RELEASE

立命館大学

2025. 4. 1

報道関係者　各位

＜配信枚数2枚＞

～学生主体の産学連携プロジェクトが「Cap Ring Water」を開発～
PET ボトルキャップを水平リサイクルしたミネラルウォーター製品を発売
キャンパス内回収から実現する新たな循環モデルで環境保全に貢献

立命館大学（京都府京都市、学長：仲谷善雄）の学生団体「Cap Ring Water Project」は、日本山村硝子株式会社（兵庫県尼崎市、代表取締役社長執行役員：山村昇）およびダイドー・タケナカビバレッジ株式会社（高知県室戸市、代表取締役社長：竹中浩貢）と連携し、清涼飲料 PET ボトルキャップにおける水平リサイクル製品を、本日より各キャンパスの立命館生活協同組合にて販売します。

記

■商品名

Cap Ring Water

■商品概要

金額：108 円（税込）

■発売開始日

2025 年 4 月 1 日（火）

■販売場所

立命館生活協同組合
（衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス、大阪いばらきキャンパス）

■商品の特徴

本製品の PET ボトルキャップは、立命館大学大阪いばらきキャンパス内にて回収・選別された使用済み PET ボトルキャップをリサイクル材として活用・製造されています。また、日本山村硝子が提供する水平リサイクル技術を採用し、二重構造キャップの外側と内側の特性を生かすことで、食品衛生上の課題をクリアし、清涼飲料 PET ボトルキャップにおける水平リサイクルを実現した先駆的な製品です。さらに、学生主体で企画立案、デザイン、Web コンセプトの策定、そして SNS 等を通じた情報発信、製品化に向けた各工程を取りまとめ、各工程の連携を図りながら、持続可能な資源循環システムの実現を目指しています。

本リリースの配布先：　京都大学記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会

●取材・内容についてのお問い合わせ先
立命館大学広報課　担当：覚（かく）
TEL.075-813-8300　Email. r-koho@st.ritsumei.ac.jp

別紙

■商品開発の背景

PET ボトルのリサイクルに関する研究を行っている経営学部の中村真悟教授が本プロジェクトをコーディネートしています。学生たちは PET ボトルキャップの製作や飲料水の充填も含め、循環型社会に寄与する製品開発の流れに立ち会いました。

【工場での完成品確認の様子】

このような学生主体のチャレンジと企業との協働により、従来は廃棄される PET ボトルキャップに新たな価値が付与され、環境保全の観点と持続可能な経済活動の双方で高い評価を得る製品として、社会的意義のあるモデルケースとなることを目指します。

今後、本プロジェクトは、資源循環に対する関心の喚起と行動の動機付け、さらにはサーキュラー・エコノミーの研究・実践拠点としての価値を高める取り組みとして、広く展開していくことを目標としています。

■中村真悟教授のコメント

今回のプロジェクトは、学生が中心ではありますが、さまざまな学内外の方々の協力・連携があって実現することができました。ただ、私たちは今回の「製品」ができて終わりではなく、これが循環のスタートだと思っています。つまり、これからこの商品を利用する人たちが次の循環の担い手として、活動への協力が「当たり前」になっていかなければ意味がありません。本プロジェクトの取り組みの一つとして、学生団体が Cap Ring Water の開発に関わってくださった人・企業に直接取材し、工程を間近で見て体験したことなどを Web（下記）に掲載していきます。そうすることで「へー、そうなんだ」「だったら今度は分別してみよう」「自分でも何かできないかな」という手にとった人たちの興味や行動に繋がればと期待しています。またプロジェクトに関わった学生にとっては、これまでは結果しか見えてこなかった製品の背景、努力の過程を深く理解するきっかけになっており、未来社会に貢献する学びになることを期待しています。

中村真悟教授　:https://www.ritsumei.ac.jp/ba/introduce/professor-list/detail.html/?news_id=48

Cap Ring Water　:https://capringwater.studio.site/1

■学生のコメント　宜野座　梨央さん（経営学部・3 回生）

自分たちでラベル作成・関連企業への取材等を行う中で、アイデアが一つの商品になる喜びとともに、その実現までの道のりの大変さを実感しました。是非手にとっていただき、皆さんが資源循環について考えるきっかけとなれば嬉しいです。

《参考》

■立命館大学経営学部

立命館大学経営学部は、1962 年の創設以来、学部理念「経済学を基礎とした経営学」のもと経営学の教育と研究を進めてきました。1996 年には、新たに「ビジネスを発見し、ビジネスを創造する経営学」という学部理念を確立し、ビジネスの視点から社会的課題を発見し、創造的な問題解決を目指す経営学の研究と教育を進めてきました。その特徴は、社会生活で実際に役立つ「実学」を提供していることです。特に今日は、貧困や労働にかかわる問題、SDGs（持続可能な開発目標）の観点からの社会的課題の解決や、ソーシャルビジネスも重視しています。

URL:https://www.ritsumei.ac.jp/ba